

基本方針1 市町村とともに小・中学校の教育力を充実します

資料1

【基本的方向】

- ① 市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上を図ります。
- ② 教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめ、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
- ③ 学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。

【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
①	中学校の学校力向上へ向けた重点支援 （スクール・エンパワーメント推進事業 <参考資料1 P1> （中学生学びチャレンジ事業 <参考資料1 P1>）	学力向上に積極的に取り組む府内 84 中学校に学力向上担当教員を配置するとともに、府教育庁に設置した「支援チーム」が学校の取組みを検証し、市町村教育委員会とともに指導・助言を行った。 また、学力向上の対策を重点的に推進する市町村に対し、学力向上計画の実行にかかる経費の2分の1を補助するとともに、対象市町村の計画の進捗状況について点検し、指導・助言を行った。 中学生の学力向上を目的として、府内の市町村立中学校及び特別支援学校中学部並びに府立支援学校中学部の全学年を対象に、学力調査を実施した。
	少人数学級編製の推進 （35人を基準とした少人数学級編制 <参考資料1 P2>）	学校生活の基礎を築くためには、きめ細かな少人数での指導が重要であると考え、小学校1年生は標準法による基礎定数、小学校2年生は国加配定数を活用し、35人を基準とした少人数学級編制を実施した。
	少人数・習熟度別指導の推進 （習熟度別指導推進事業 <参考資料1 P2>）	児童・生徒の学習理解を促進するため、小学校3～6年生と中学校全学年で少人数・習熟度別指導を実施した。

（※）以降、公立小学校（義務教育学校前期課程を含む）を「小学校」、公立中学校（義務教育学校後期課程含む）を「中学校」とする。

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
②	授業改善への支援 （市町村研修支援プロジェクト・校内研究支援プロジェクト ＜参考資料1 P3＞）	<p>市町村教育委員会の体系的な研修の実施を支援するため、支援教育研修、人權教育研修、及び ICT 活用研修に府教育センターの指導主事を研修講師として派遣した。</p> <p>市町村教育委員会指導主事の実践的指導力を育成し、市町村教育委員会が所管する学校に向けて具体的な研修を実施できるようにするため、市町村指導主事学習会を実施した。</p> <p>また、市町村における教員の人材育成をめざして、キャリアステージに応じた授業づくり研修を開講するなど、小中学校授業力向上研修の充実を図った。</p>
	英語教育の充実 （英語教育推進事業 ＜参考資料1 P4＞）	<p>小学校初期段階から中学校にかけて英語教育の充実を図るため、小学校では、「大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム（DREAM）」を普及するとともに、活用支援研修を実施した。</p> <p>また、中学校では、英語の授業改善を進めるため、「授業改善推進リーダー研修」を実施した。</p>
	理科教育の充実（＜参考資料1 P5＞）	<p>「小・中学校における理科教育の課題に関する調査研究」を実施し、平成29年3月に報告書を作成した。明らかになった課題に対応するため、「小学校理科ハンドブック」を作成し全小学校へ配付するとともに、「中学校理科授業プラン」を編集し、普及のためのリーフレットを作成し、平成29年度当初に全中学校理科教員へ配付すると同時に Web で配信した。</p>
③	【基本方針4 基本的方向④の再掲】	<div style="border: 2px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">第2回審議会で審議済</div>

【指標の点検結果】 ※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	目標値 (H29 年度)	H24 年度実績値 (計画策定時)	H28 年度実績値	点検結果																																																																					
○指標1 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率	小6 全国水準を上回る	小6 (H25.4 実施) <table border="1" data-bbox="660 311 1153 558"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>62.7</td> <td>61.2</td> <td>0.976</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>49.4</td> <td>47.9</td> <td>0.970</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>77.2</td> <td>77.1</td> <td>0.999</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>58.4</td> <td>57.3</td> <td>0.981</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	62.7	61.2	0.976	国語B	49.4	47.9	0.970	算数A	77.2	77.1	0.999	算数B	58.4	57.3	0.981	小6 (H29.4 実施) <table border="1" data-bbox="1198 311 1691 558"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>74.8</td> <td>72.1</td> <td>0.964</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>57.5</td> <td>54.5</td> <td>0.948</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>78.6</td> <td>77.8</td> <td>0.990</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>45.9</td> <td>44.6</td> <td>0.972</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p> (H27 年度実績値 (H28.4 実施)) <table border="1" data-bbox="1198 686 1691 933"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>72.9</td> <td>71.3</td> <td>0.978</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>57.8</td> <td>55.4</td> <td>0.958</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>77.6</td> <td>76.9</td> <td>0.991</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>47.2</td> <td>45.8</td> <td>0.970</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	74.8	72.1	0.964	国語B	57.5	54.5	0.948	算数A	78.6	77.8	0.990	算数B	45.9	44.6	0.972		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	72.9	71.3	0.978	国語B	57.8	55.4	0.958	算数A	77.6	76.9	0.991	算数B	47.2	45.8	0.970	小6 算数は、ほぼ全国水準を維持しているものの、全体としては、計画策定時と比べると、改善には至らなかった。  △
				平均正答率 (%)																																																																					
国	府		対全国比 (注)																																																																						
国語A	62.7	61.2	0.976																																																																						
国語B	49.4	47.9	0.970																																																																						
算数A	77.2	77.1	0.999																																																																						
算数B	58.4	57.3	0.981																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	74.8	72.1	0.964																																																																						
国語B	57.5	54.5	0.948																																																																						
算数A	78.6	77.8	0.990																																																																						
算数B	45.9	44.6	0.972																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	72.9	71.3	0.978																																																																						
国語B	57.8	55.4	0.958																																																																						
算数A	77.6	76.9	0.991																																																																						
算数B	47.2	45.8	0.970																																																																						

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H28年度実績値	点検結果																																																																					
○指標1 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率	中3 全国水準をめざす	中3 (H25.4実施) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>76.4</td> <td>73.3</td> <td>0.959</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>67.4</td> <td>63.0</td> <td>0.935</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>63.7</td> <td>61.7</td> <td>0.969</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>41.5</td> <td>38.8</td> <td>0.935</td> </tr> </tbody> </table> (注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	76.4	73.3	0.959	国語B	67.4	63.0	0.935	数学A	63.7	61.7	0.969	数学B	41.5	38.8	0.935	中3 (H29.4実施) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>77.4</td> <td>75.3</td> <td>0.973</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>72.2</td> <td>69.1</td> <td>0.957</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>64.6</td> <td>63.7</td> <td>0.986</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>48.1</td> <td>46.3</td> <td>0.963</td> </tr> </tbody> </table> (注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合 (H27年度実績値 (H28.4実施)) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>75.6</td> <td>73.5</td> <td>0.972</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>66.5</td> <td>63.3</td> <td>0.952</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>62.2</td> <td>61.7</td> <td>0.992</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>44.1</td> <td>43.1</td> <td>0.977</td> </tr> </tbody> </table> (注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	77.4	75.3	0.973	国語B	72.2	69.1	0.957	数学A	64.6	63.7	0.986	数学B	48.1	46.3	0.963		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	75.6	73.5	0.972	国語B	66.5	63.3	0.952	数学A	62.2	61.7	0.992	数学B	44.1	43.1	0.977	中3 計画策定時に比べ、いずれも平均正答率の対全国比は改善した。  ○
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	76.4	73.3	0.959																																																																						
国語B	67.4	63.0	0.935																																																																						
数学A	63.7	61.7	0.969																																																																						
数学B	41.5	38.8	0.935																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	77.4	75.3	0.973																																																																						
国語B	72.2	69.1	0.957																																																																						
数学A	64.6	63.7	0.986																																																																						
数学B	48.1	46.3	0.963																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	75.6	73.5	0.972																																																																						
国語B	66.5	63.3	0.952																																																																						
数学A	62.2	61.7	0.992																																																																						
数学B	44.1	43.1	0.977																																																																						
○指標2 「全国学力・学習状況調査」における無解答率	小6：全国水準を下回る 中3：全国水準をめざす	小6：8.4% (全国：8.1%) 中3：8.6% (全国：6.8%)	小6：4.2% (全国：3.8%) 中3：7.3% (全国：6.1%) (H27年度実績 小6：5.2% (全国：4.8%) 中3：7.7% (全国：6.9%))	小6 △ 中3 ○ 計画策定時の実績と比較すると、小6は変わらず、中3は改善した。																																																																					

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H28年度実績値	点検結果	
○指標3 「家で計画的に 学習する」と回 答した児童・生 徒の割合	向上させる	小6：49.7%（全国：58.9%） 中3：42.3%（全国：44.5%）	小6：55.5%（全国：64.5%） 中3：48.7%（全国：51.5%）  〔 H27年度実績 小6：52.6%（全国：62.2%） 中3：46.8%（全国：48.4%） 〕	○	いずれも計画策定時 の実績を上回った。
○指標4 「児童・生徒は 熱意を持って勉 強している」と 回答した学校の 割合	向上させる	小6：20.9%（全国：22.6%） 中3：13.6%（全国：19.7%）	小6：28.2%（全国：26.5%） 中3：27.3%（全国：24.2%）  〔 H27年度実績 小6：28.9%（全国：26.3%） 中3：26.2%（全国：23.6%） 〕	○	いずれも計画策定時 の実績を上回った。
○指標5 「自分には良い ところがある」 と回答した 児童・生徒の 割合 【基本方針4 指標27の再掲】	向上させる (全国水準をめざ す)	小6：73.0%（全国：75.7%） 中3：60.2%（全国：66.4%）	小6：74.9%（全国：77.9%） 中3：65.6%（全国：70.7%）  〔 H27年度実績 小6：72.9%（全国：76.3%） 中3：64.9%（全国：69.3%） 〕	○	いずれも計画策定時 の実績を上回った。
○指標6 「人の気持ちが わかる人間にな りたい」と回答 した児童・生徒 の割合 【基本方針4 指標28の再掲】	向上させる	小6：91.7%（全国：93.0%） 中3：92.5%（全国：94.2%）	—  ※平成28年度全国学力・学習状況調査児童生徒 質問紙から当該質問事項が削除	—	—

## 【自己評価】

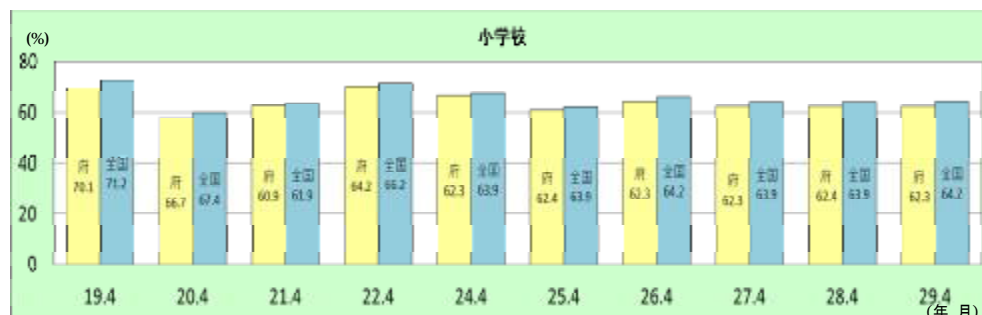
- ① 市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上を図ります。
- ② 教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめ、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
- ・「全国学力・学習状況調査」における平均正答率については、小学校では、昨年同様、全国平均よりやや低い状況が続いている。特に国語の課題が大きい。中学校では、以前と比べて改善した状況にあるものの、数学で全国との差はやや広がっている。また、国語・数学ともにB区分の課題が大きい。
  - 無解答率については、小学校は、ほぼ全国平均に近い状況であるが、国語に課題が見られる。中学校は、改善傾向にあったものの、全教科・区分で全国平均との差が拡大した。
  - 今後、調査結果の分析を進め、成果のあった取組みの更なる普及とともに、明らかになった課題の改善に向けた取組みを一層進めていく。
  - ・学習状況調査結果からは、「児童・生徒は、熱意をもって勉強している」と回答した学校の割合が、小・中学校とも全国平均を上回っている。一方、「家で計画的に学習する」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校とも昨年度より向上し、計画策定時を上回っている。
  - ・小学校初期段階から中学校にかけて英語教育を充実するため、小学校では「大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム（DREAM）」の普及を図るとともに、活用支援研修を年間4回行った。中学校では「授業改善推進リーダー研修」を実施し、各市町村でその研修内容の伝達講習等を行った。その結果、「平成28年度英語教育実施状況調査」では、授業中の英語による発話を半分以上行っている教員の割合が、54.6%（政令市除く）となり、平成27年度（33.5%）に比べて大きく向上した。今後は、各市町村の成果のあった取組みの収集及び普及を行い、さらに授業改善を進めていく。
  - ・平成28年に実施した「小・中学校における理科教育の課題に関する調査研究」から明らかになった課題に対応するため、平成29年3月に「小学校理科ハンドブック」を作成し全小学校へ配付した。また、「中学校理科授業プラン」を編集し、普及のためのリーフレットを作成し、平成29年度当初に全中学校理科教員へ配付すると同時にWebで配信した。今後は、府教育センターが主催する研修で活用を図り、課題改善に努める。
- ③ 学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。（基本方針4 基本的方向④の一部再掲）
- ・小・中学校については、人権教育研修を実施するとともに、家庭・地域と連携した道徳教育をより一層推進してきた。これらの成果として、「自分には良いところがある」と回答した小学校6年生、中学校3年生が、いずれも計画策定時の実績を上回った。

【評価審議会における審議結果】

○

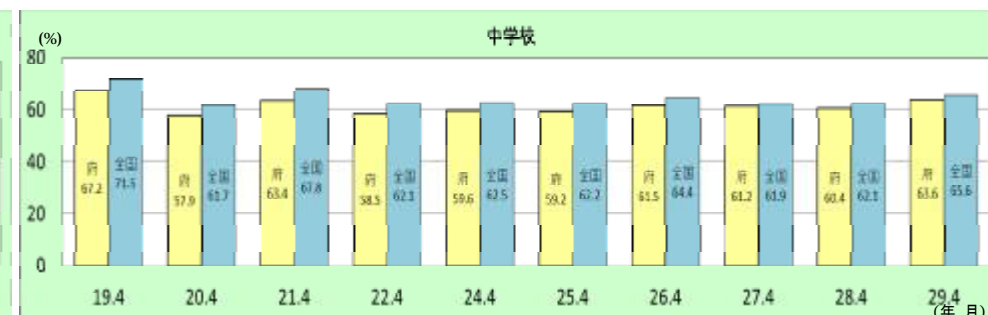
(参考)

◆指標1「全国学力・学習状況調査」における平均正答率



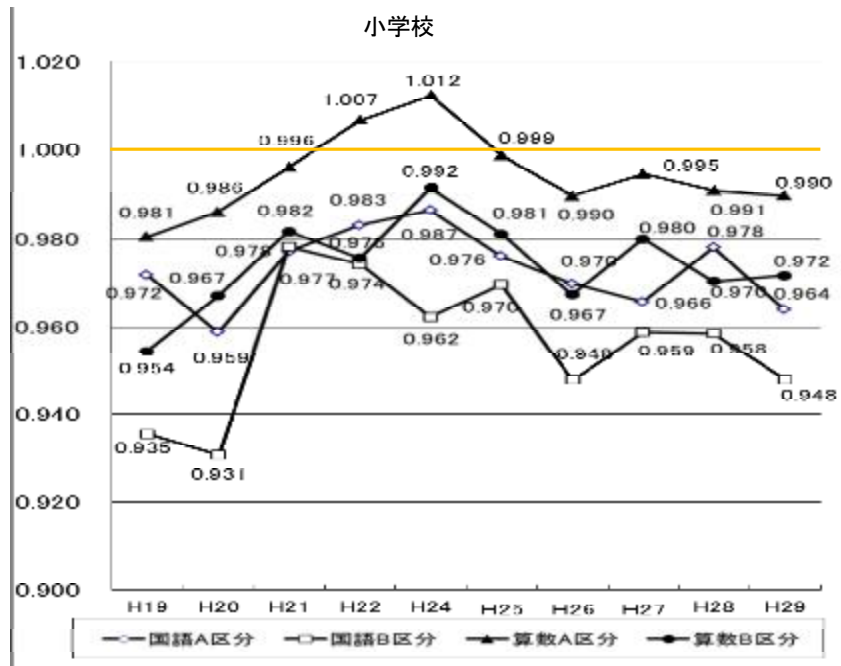
※ H19～21, 25～29年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」(政令市を含む悉皆調査)

※国語、算数(数学)の各区分の平均正答率の平均

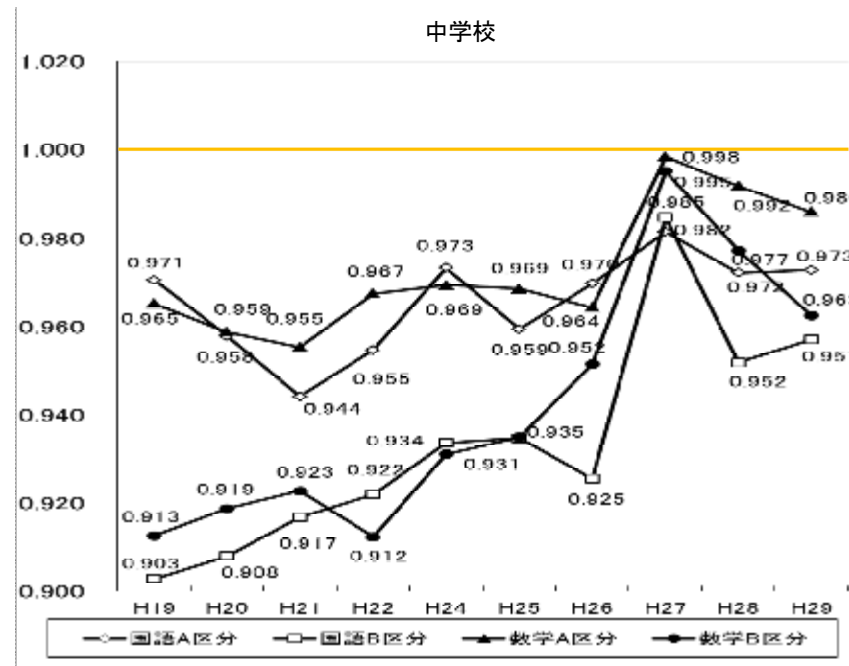


※H22, 24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」(政令市を含む抽出調査)

【校種・教科・区分別 正答率/対全国比経年比較】



----- ※全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合



----- ※全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合

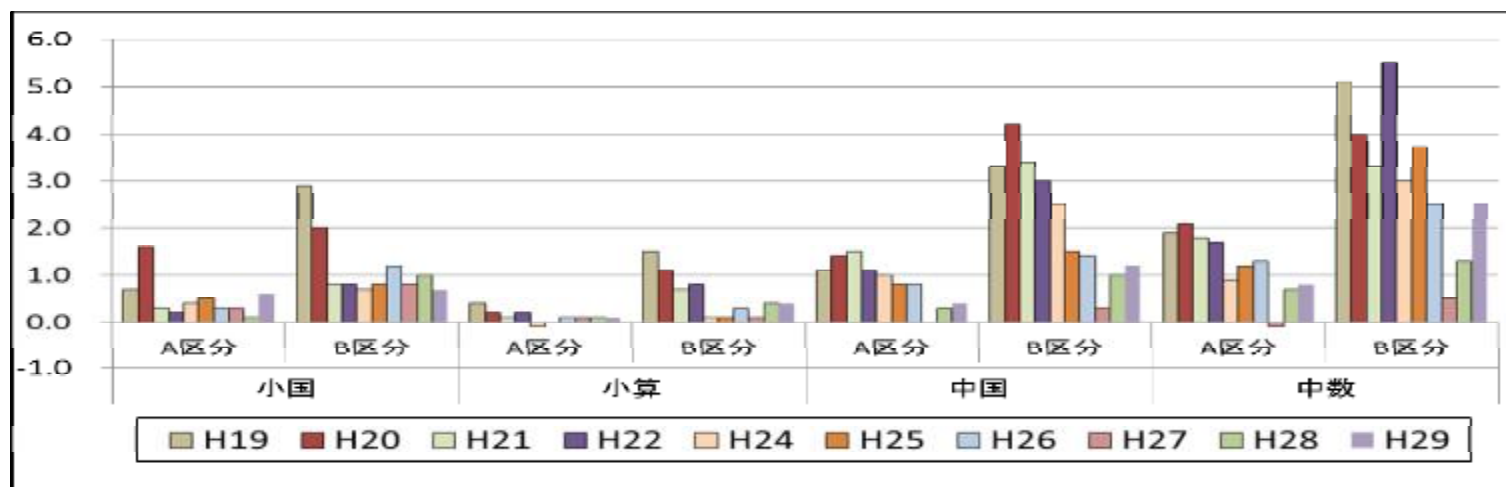


◆指標2 「全国学力・学習状況調査」における無解答率

(%)

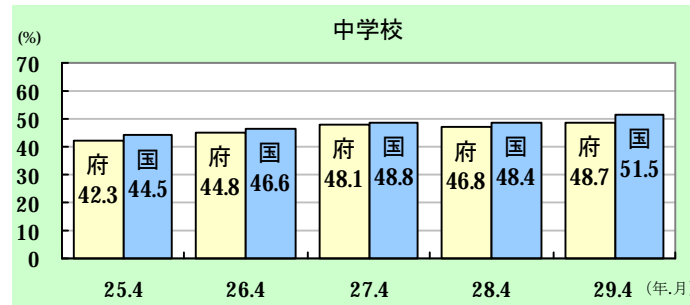
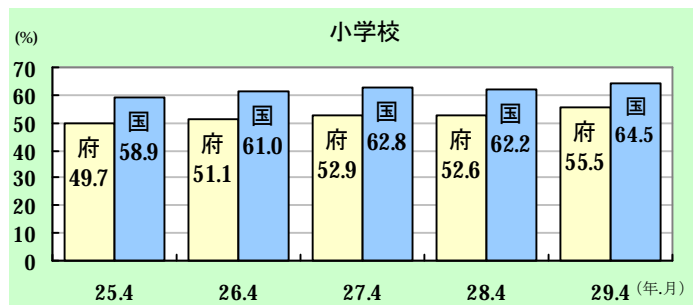
		H19			H20			H21			H22			H24			H25			H26			H27			H28			H29		
		大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差
小学校	A区分	2.7	2.0	0.7	12.5	10.9	1.6	10.2	9.9	0.3	2.8	2.6	0.2	3.4	3.0	0.4	11.2	10.7	0.5	2.6	2.3	0.3	3.9	3.6	0.3	5.4	5.3	0.1	3.4	2.8	0.6
	国語	11.6	8.7	2.9	14.3	12.3	2.0	12.9	12.1	0.8	5.0	4.2	0.8	7.3	6.6	0.7	14.4	13.6	0.8	10.4	9.2	1.2	6.9	6.1	0.8	5.6	4.6	1.0	5.0	4.3	0.7
小学校	A区分	1.5	1.1	0.4	3.2	3.0	0.2	2.2	2.1	0.1	2.6	2.4	0.2	2.2	2.3	-0.1	1.7	1.7	0.0	1.0	0.9	0.1	1.9	1.8	0.1	1.9	1.8	0.1	1.7	1.6	0.1
	算数	7.4	5.9	1.5	7.1	6.0	1.1	6.9	6.2	0.7	7.0	6.2	0.8	4.7	4.6	0.1	6.4	6.3	0.1	4.6	4.3	0.3	9.2	9.1	0.1	7.8	7.4	0.4	6.8	6.4	0.4
中学校	A区分	4.6	3.5	1.1	5.2	3.8	1.4	4.8	3.3	1.5	3.8	2.7	1.1	4.5	3.5	1.0	3.2	2.4	0.8	3.9	3.1	0.8	2.6	2.6	0.0	2.3	2.0	0.3	2.8	2.4	0.4
	国語	8.5	5.2	3.3	12.9	8.7	4.2	9.0	5.6	3.4	9.8	6.8	3.0	7.3	4.8	2.5	4.3	2.8	1.5	4.9	3.5	1.4	2.5	2.2	0.3	5.4	4.4	1.0	5.0	3.8	1.2
中学校	A区分	6.0	4.1	1.9	8.7	6.6	2.1	6.9	5.1	1.8	8.0	6.3	1.7	3.6	2.7	0.9	6.5	5.3	1.2	5.6	4.3	1.3	3.6	3.7	-0.1	7.0	6.3	0.7	7.1	6.3	0.8
	数学	19.5	14.4	5.1	17.4	13.4	4.0	13.0	9.7	3.3	24.8	19.3	5.5	16.1	13.1	3.0	20.4	16.7	3.7	13.4	10.9	2.5	15.8	15.3	0.5	16.0	14.7	1.3	14.2	11.7	2.5

校種・教科・区分別 無解答率 対全国差経年比較



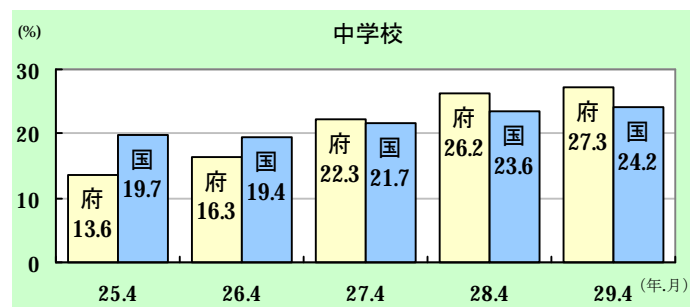
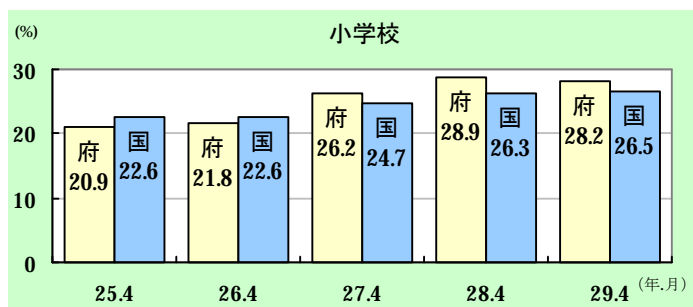
H22、24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む抽出調査)  
H25～29年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標3 「家で計画的に学習する」と回答した児童・生徒の割合



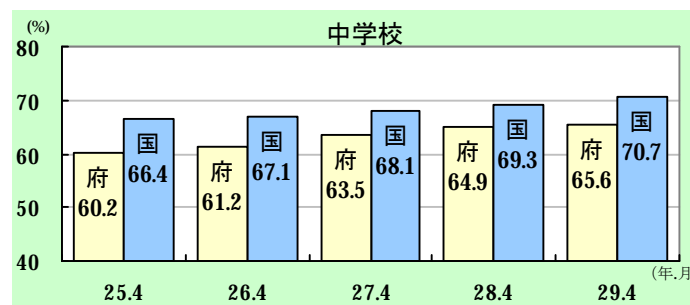
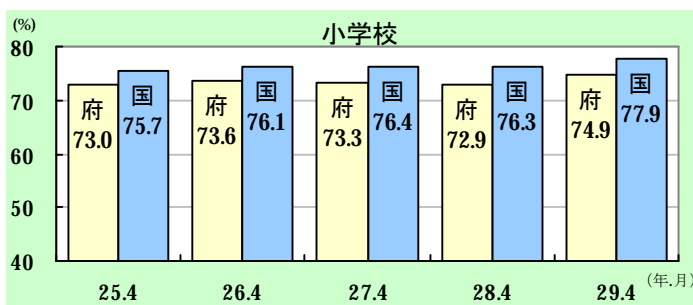
H24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む抽出調査)  
H25～29年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標4 「児童・生徒は熱意を持って勉強している」と回答した学校の割合



※文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標5 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合 (基本方針4 指標27の再掲)



※文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)